

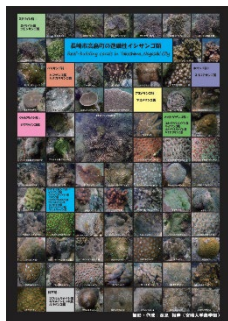
部局名 農学部

担当：深見 裕伸



テーマ 地域ごとの造礁性イシサンゴ類の種多様性と保全

取組の様子



喜界島のサンゴ図鑑 高島のサンゴポスター

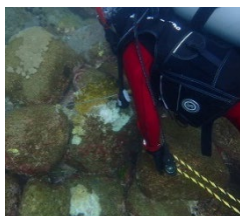
特色ある取組

地域ごとの造礁性イシサンゴ類の種多様性調査

宮崎県延岡市・日南市、長崎市高島、および鹿児島県喜界島(他大学共同)において造礁性イシサンゴ類の種組成を調査している。この調査を行うことで、それぞれの地域で現状、どのくらいの種がいるのか確認できる。さらに、それら確認できたサンゴについては、図鑑やポスターにして、それぞれの地域のサンゴの保全や活用に使われている。

宮崎県のサンゴ群集の保全活動

宮崎県の南部では、10年前にサンゴを食べるオニヒトデの大量発生が確認され、さらにその後、サンゴを食べる巻貝(ヒメレイシガイダマシ)も大量発生している。そのため、サンゴ群集の保全を目的として10年前から現在まで、宮崎県、日南・串間市、漁協、ダイビングショップと、宮崎大学(深見・安田)が協力し、これらサンゴ食害生物の駆除活動および、被害状況調査(学生も参加)を行っている。

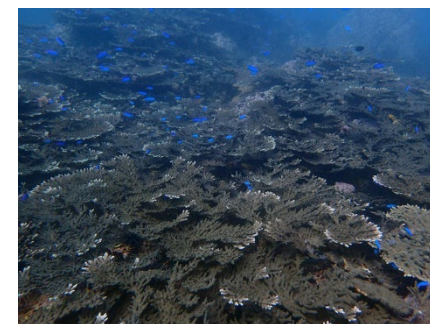


オニヒトデと駆除の風景

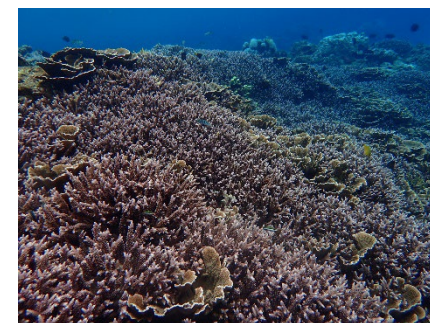
期待できる成果・評価

サンゴの種の組成(多様性)が分かることで、現状、それぞれの地域にどれくらいの種が生息しているのか、どのような種が貴重で珍しいのかが明らかとなる。さらに、それらを図鑑等にまとめることで、現場で保全活動している人々や環境教育に役立つ。加えて、環境変動により、将来的にどの種が減少・増加したのかといったことも判断可能となる。

サンゴは一度いなくなると再生するのに非常に長い年月を要する。サンゴ食害生物の駆除により、現状のサンゴ群集を保全することは、観光や行業の面からみて重要である。



宮崎県延岡市のサンゴ群集



鹿児島県喜界島のサンゴ礁

日南海岸サンゴ群集保全協議会 (Instagram)
https://www.instagram.com/nichinan_coral/

喜界島サンゴ図鑑100年プロジェクト
<https://kikaireefs.org/kikaireefs-project/>

担当： 海洋生物環境学科
深見 裕伸